

令和7年11月22日

国士舘大学大学院 スポーツ・システム研究科（修士課程）

第 I 期 入学試験

試験科目名：専門科目

近年、AI 技術の活用が普及し、選手のパフォーマンスを即座に分析し、フィードバックするシステムなども開発されている。このような AI による「客観的かつ即時的なフィードバック」は、選手の「内発的動機づけ」にどのような影響を与えると考えられるか。

デシー (Deci) とライアン (Ryan) が提唱した「自己決定理論 (Self-Determination Theory)」に基づき、特に「有能性の欲求」「自律性の欲求」「関係性の欲求」という 3 つの基本的心理欲求の観点から、AI によるフィードバックがもたらす「肯定的な側面」と「リスク」について、具体的に論じなさい。

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名	スポーツ・システム研究科 修士課程
試験期別	I期
試験区分	一般選考・学内選考
試験科目名	専門科目

### ■出題の意図

本問題は、スポーツ心理学における「動機づけ理論」の代表的な一つ「自己決定理論」についての基礎的な理解度を問う問題です。

**基礎理論の理解:** 動機づけ理論については、教育者を指す場合でもスポーツ科学者を指す場合であっても現場での実践において理解しておくべき理論となる。受験者が「内発的動機づけ」の定義と、それを支える3つの基本的心理欲求（有能性、自律性、関係性）を正確に説明できるかを確認するのがねらいとなる。

**応用:** AIによるフィードバックは「付加的フィードバック」に分類される。一般的には「有能性」と「自律性」の欲求の充足には適切な与え方（頻度、タイミング等）があると考えられている。その点を説明できているかどうかが応用的な理解度を評価する点である。

**批判的思考:** AI技術のリスクについては、AIからの「指示」が選手の「自律性」を奪い、結果として内発的動機づけを低下させる「アンダーマイニング効果」などが代表的なものと言える、応用的な思考ではないが、批判的に物事を捉えられる視点として評価したい

### ■採点のポイント

60点以上

・自己決定理論の説明は不十分であっても、自らの考えでAIによるフィードバックがもたらす「肯定的な側面」と「リスク」について説明している

70点以上

3つの欲求について説明がなされており、それが大筋で理解がされていると判断できる。尚且つ2つの側面について論じられており、いずれかでもそのメカニズムについて関連づけて説明がなされている

80点以上

3つの基本的心理欲求を正確に定義し、AIフィードバックとの関連を明確に論じている。